

主な性感染症

疾病名	病原体	感染経路	症 状	妊娠や胎児への影響	検査	治療
梅毒	梅毒トレポネーマ	性行為感染、母子感染 第1期と第2期では、粘膜など病気の部分に病原体が多量に含まれているため、他の人に感染させる可能性が高い。 第3期と第4期では感染性は下がる。	感染した場所（性器や口）にできもの、潰瘍ができる。（第1期） その後、全身にブツブツや発疹が現れる。（第2期） さらに皮膚や内臓で静かに進行し（第3期）、神経症状や心臓・血管症状が現れる。（第4期）	胎盤を通して胎児に感染する。	梅毒トレポネーマの検出、血液検査	抗菌薬
淋菌感染症	淋菌	性行為感染、母子感染 菌は、喉、直腸、尿にも出るので、口、肛門、尿を使った性行為も危険	男性：排尿時痛と膿尿 女性：症状が軽く気がつかないことも多い。	不妊の原因となることがある。 母親が感染していると、出産時に新生児に感染し、淋菌性結膜炎を起こし、失明することがある。	尿や分泌物の検査（培養検査、遺伝子学的検査）	抗菌薬
性器クラミジア	クラミジアトラコマティス	性行為感染、母子感染 菌は、喉、直腸、尿にも出るので、口、肛門、尿を使った性行為も危険	男性：排尿時痛や尿道搔痒感 女性：症状が軽く気が付かない事が多い。	不妊の原因となることがある。 妊婦が感染すると、流産・早産の原因になることがある。 母親が感染していると、出産時に新生児に感染し、結膜炎や肺炎を発症させる。	尿や分泌物の検査（培養検査、遺伝子学的検査）	抗菌薬
性器ヘルペス	ヘルペスウイルス	性器、口、口唇周囲、肛門などから感染する。	性器の水ぶくれ（水疱）や潰瘍ができる。	妊娠中は再発しやすくなる。 母親が出産時に発症していると、新生児に致命的な感染を引き起こすことがある。	水ぶくれの一部をこすった検査、血液検査	抗ウイルス薬
尖圭コンジローマ	ヒト乳頭腫ウイルス	ウイルスはイボの中に多く、皮膚や粘膜の微小な傷から侵入する。	外陰部、肛門や膣内などに鶏冠様のイボができる。	母親が感染していると、出産時に新生児に感染し、尖圭コンジローマや喉頭乳頭腫を発症させることがある。	特徴的なイボを確認	外科的切除、薬物塗布、など
膣トリコモナス症	膣トリコモナス原虫	性行為感染、まれにタオル、下着、シーツを介して感染	男性：自覚症状のない事が多い。 まれに前立腺炎を起こすことがある。 女性：悪臭のするおりもの	妊娠中に感染すると早産になることがある。	分泌物の検査（顕微鏡的検査、培養検査、遺伝子学的検査）	抗原虫剤
性器カンジダ症	カンジダの真菌	感染経路は様々。常在菌として持っていたものが増殖する場合、性行為で感染する場合がある。	男性：無症状または搔痒感 女性：外陰部の搔痒感と白色のおりもの		分泌物の検査（顕微鏡的検査、培養検査）	抗真菌剤（クリームや錠剤）
（エイズ） 後天性免疫不全症候群	HIVウイルス	性行為感染・母子感染 注射器の回し打ち等	はじめはほとんど無症状。抵抗力が落ちてくると、発熱、下痢、倦怠感、体重減少などいろいろな症状が出る。病気が進行すると、カリニ肺炎、HIV脳症、カポジ肉腫などの合併症も現れる。	医師の指示の下に治療を行えば、ほぼ母子感染を防ぐことができる。	血液検査	抗HIV薬